

マクロ政策のがデータ知トの
青写真から実装へ：第8回日本成長戦略会議の解読

マクロ政策から企業知財・データ戦略への転換

2026年10月1日開催・成長戦略会議に基づくエグゼクティブ・シンセシス

Gemini Notebook

5年間の集中投資（2027-2031）

17の戦略分野と62の主要製品を対象とした、民間を中心とする国内投資の実行計画を年末に策定。

高性能AIの社会実装行動計画

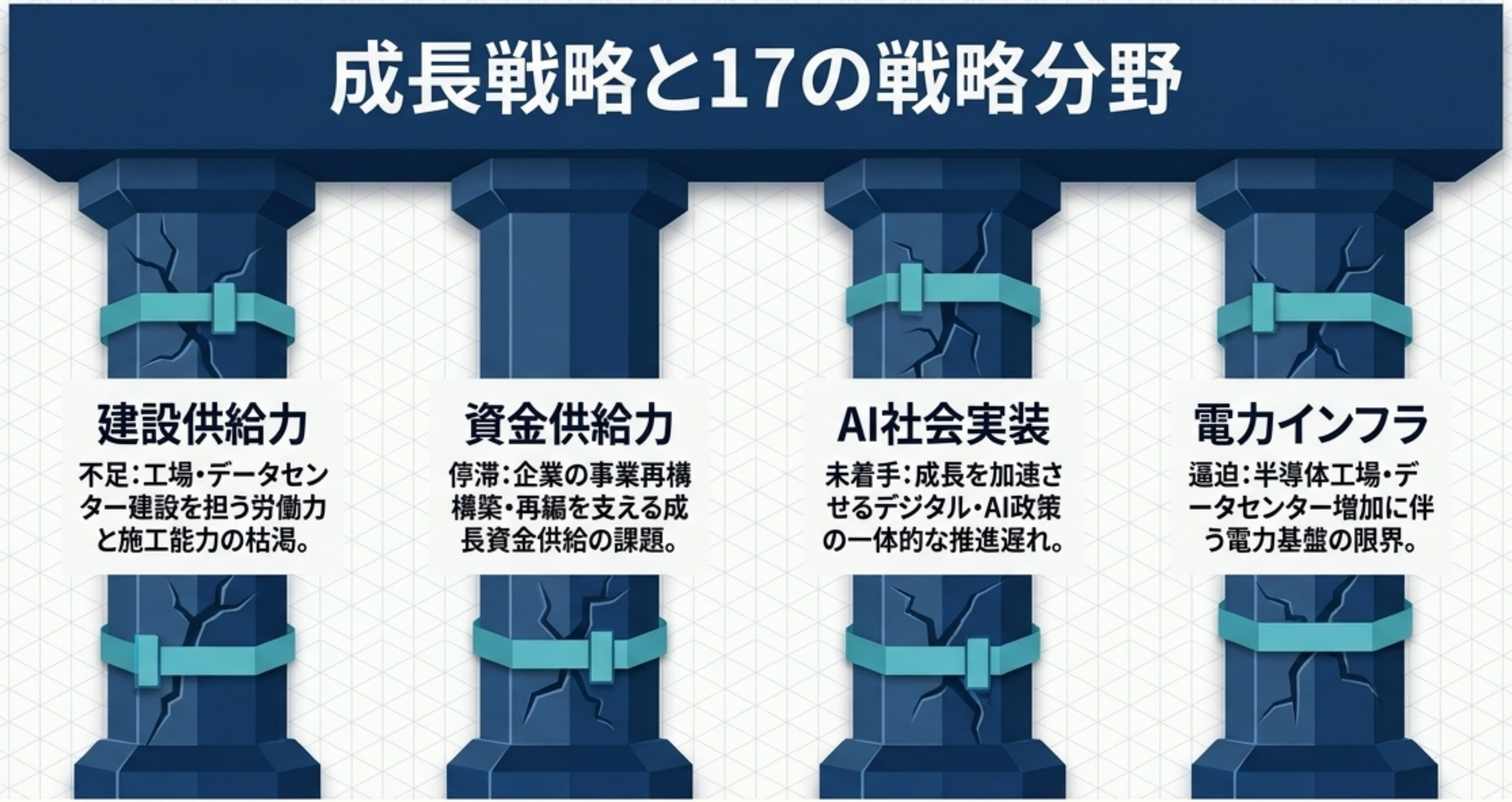
成長の「加速装置」。年内にAI普及の行動計画と、それを前とした規制・制度改革（AX）の具体像を整理。

複数年度の特別会計支援

経済安全保障上重要な事業に対し、単年度予算の壁を越えた「予見可能」な財政支援メカニズムの構築。

Gemini Notebook

成長戦略と17の戦略分野



建設供給力

不足：工場・データセンター建設を担う労働力と施工能力の枯渇。

資金供給力

停滞：企業の事業再構構築・再編を支える成長資金供給の課題。

AI社会実装

未着手：成長を加速させるデジタル・AI政策の一体的な推進遅れ。

電力インフラ

逼迫：半導体工場・データセンター増加に伴う電力基盤の限界。

これら4つの制約（ボトルネック）を解消しなければ、いかなる集中投資も機能しない。

Gemini Notebook



Gemini Notebook

自律的AIガバナンスと国内検証能力の確立



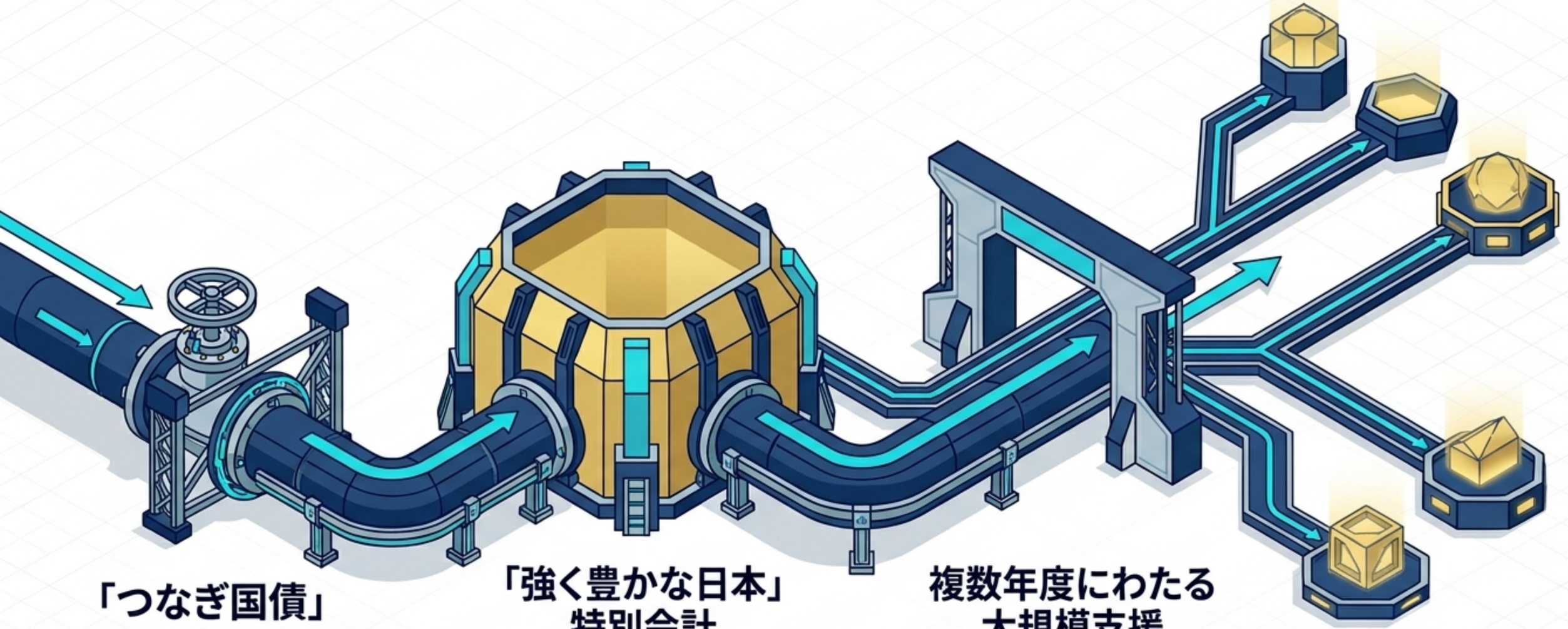
特定領域への実装と検証

製造・建設などの供給制約に対し、設計業務等へのAI活用領域を特定し、精度検証と一体で進める。

評価・検証能力（安全性の盾）

AIセーフティ・インスティテュートの強化、第三者検証、異常通報制度。AI依存が深まるほど、国内での独自検証能力が不可欠。

Gemini Notebook



「つなぎ国債」
資金の前倒し調達

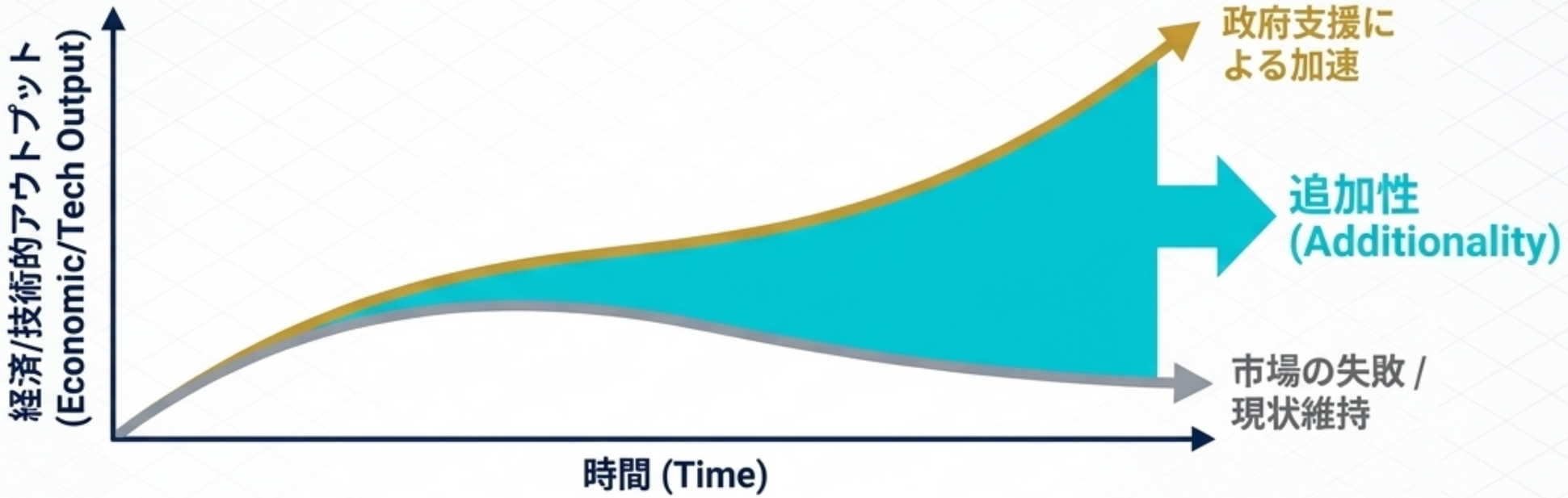
「強く豊かな日本」特別会計
経済安全保障上重要な分野を別枠管理

複数年度にわたる大規模支援
研究開発・設備投資への資金供給

単年度予算の不確実性を排除し、企業に対し「支援継続の予見可能性」を提供する画期的メカニズム。

Gemini Notebook

Activation Curve / Gap Chart



企業が証明すべき3つの条件:

1. 投資の必然性

支援がなければ実現しなかった投資・成果であること。

2. 収益性と波及効果

公的資金に見合う収益性、技術の優位性、市場の成長性。

3. 自律性・不可欠性

支援終了後に自立し、サプライチェーン上で不可欠な存在となること。

Gemini Notebook



会田卓司

「高圧経済の創出」

投資需要拡大による2%超の需給ギャップを目指す積極財政。



片岡剛士

「EBPMとAI検証」

専門人材やAIを用いたリアルタイムな政策評価・波及効果の検証体制。



遠藤典子

「デュアルユースと確約」

防衛需要を確定需要とし、複数年度の購入約束と緊急時の増産能力確保。



竹内純子

「国際標準化と電力」

国際ルール形成の人材支援と、競争相手に遜色のない電力コスト（原子力・火力含む）の維持。

Gemini Notebook

小林健（商工会議所会頭）

「柔軟性の追求」

変形労働時間制の要件緩和、柔軟な働き方による労働供給制約の突破。中小企業への波及と予見可能性の重視。



芳野友子（連合会長）

「労働環境の保護」

規制緩和による長時間労働の常態化への強い懸念。時間延長ではなく、AI 等による「業務プロセスの見直し」と「省力化」を優先。

成長への期待は一致するが、「供給制約の解決手段」において労使間に明確な対立軸が存在する。

Gemini Notebook

評価点

- 投資計画と複数年度予算の連動
- 供給制約（電力・労働力）の事前対処
- AI政策の全方位化（データ・人材・検証）

年末に向けた6つの検証要件

1. 17分野における支援対象の「選定理由」と優先順位
2. 投資額以外の成果指標（生産性・賃金）の設定
3. 特別会計の「償還財源」と金利上昇リスクへの対応
4. 効果が乏しい事業に対する厳格な「撤退・縮小条件」
5. AI技術の急激な変化に追従する「投資配分の更新」メカニズム
6. 中小企業・地域経済への取引・所得波及の確実性

Gemini Notebook

政府が求める「勝ち筋（ストーリー）」の証明責任



知財部門は単なる権利保全から、「投資判断を正当化する戦略中枢」へと役割を変えなければならない。

Gemini Notebook

処理/AI

処理・内製化プロセス



データ利用権限の確保、委託先の再利用条件の制限、海外サービスへの提供時の機密保持。

製造ノウハウの流出防止（秘密管理）。検索・比較等のAI工程と、「Human-in-the-loop（人の確認・最終判断）」の設計。

クレーム解釈の検証、出典の追跡、ハルシネーション（誤り）発見後の修正手順の確立。

Gemini Notebook

防衛・政府需要

民生事業

既存の背景知財

企業側に帰属。政府側の利用権範囲を契約で厳密に画定。



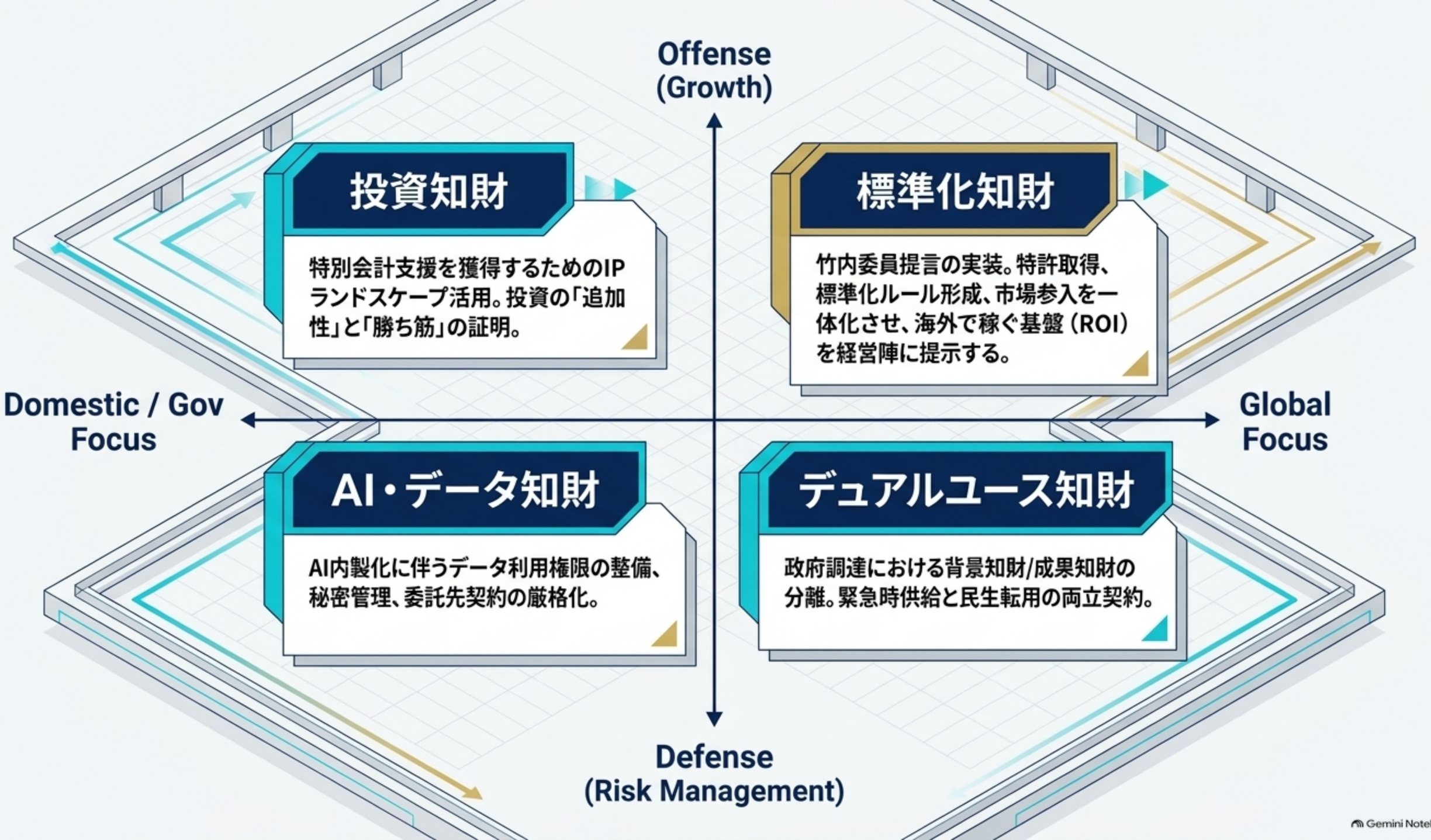
民生転用とライセンス

企業側の事業展開の自由度確保。第三者ライセンス権の設計。

供給保証

政府に対する複数年度の購入約束（確定需要）の対価としての、性能要件クリア後の量産発注と「緊急時の増産能力」の担保。

Gemini Notebook



Gemini Notebook